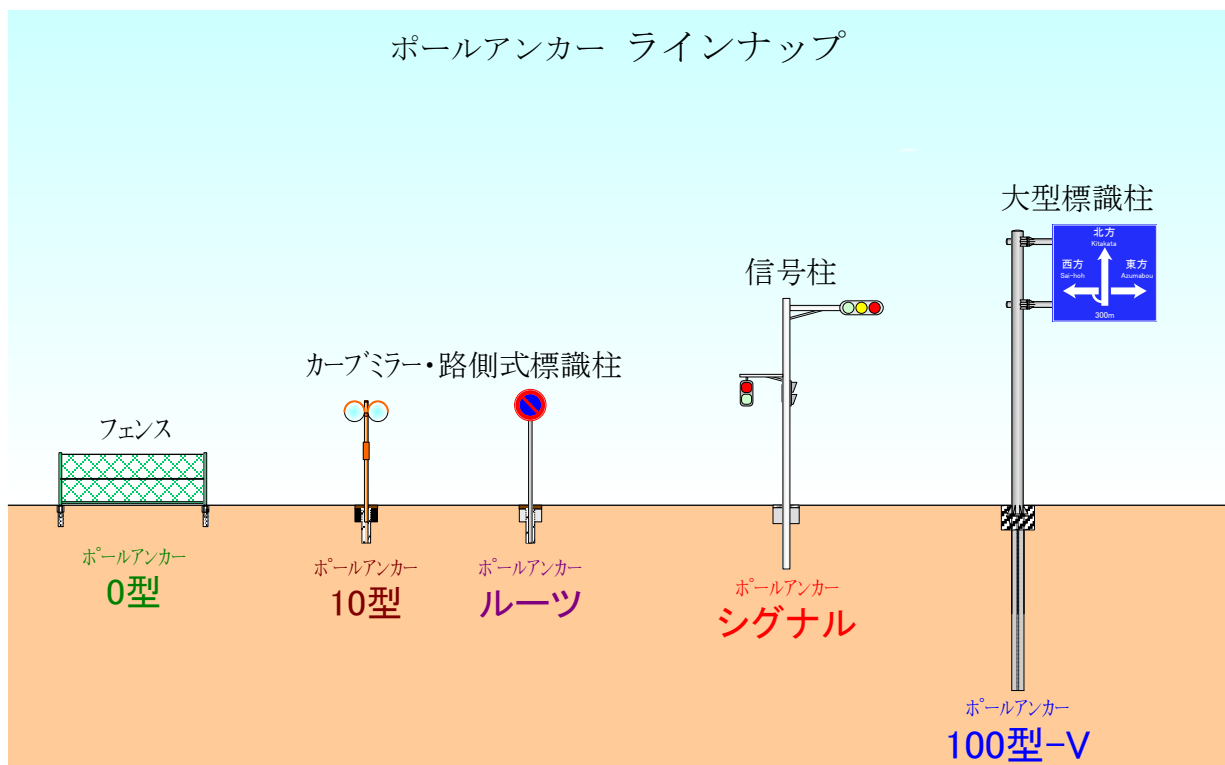


Q1103. 道路附属物にどのポールアンカーを使えばよいの？

A1103. 当社製品ポールアンカーシリーズはすべて鋼製のため、コンクリート基礎に比べ、省スペース設置が可能、工期短縮（即日建柱）が可能となります。ポールアンカーの対象となる道路附属物と適用の目安について、表1に示します。また、防護柵（フェンス）、道路反射鏡の基準関係において仕様例として記載する基礎寸法と当社製品ポールアンカーの基礎寸法の比較を以下に示します。

表1 ポールアンカーの対象構造物と適用の目安

対象構造物	従来基礎	ポールアンカー	基礎種類 (鋼製)	接続形式		適用の目安		
				埋込	ベース	上物 支柱径 (mm)	地盤条件	支柱に生じる 最大曲げ (N・m)
防護柵 (フェンス)	基礎ブロック (コンクリート)	0型	短い杭	○	—	100以下	N値5程度～ (礫・玉石除く)	1,000
カーブミラー 路側標識	根かせ材 (コンクリート)	10型 (メッキなし)	根かせ材	○	—	210以下	N値5程度～ (礫・玉石除く)	5,000
	〃	ルーツ (メッキ仕様)	〃	〃	〃	〃	〃	〃
信号柱	根巻 (コンクリート)	シグナル	根巻	○	—	220以下	N値5程度～	32,400
附属物 全般	直接基礎 2本杭基礎	100型-V	抵抗板付 鋼製杭	—	○	600以下	あらゆる地盤 (自沈除く)	500,000



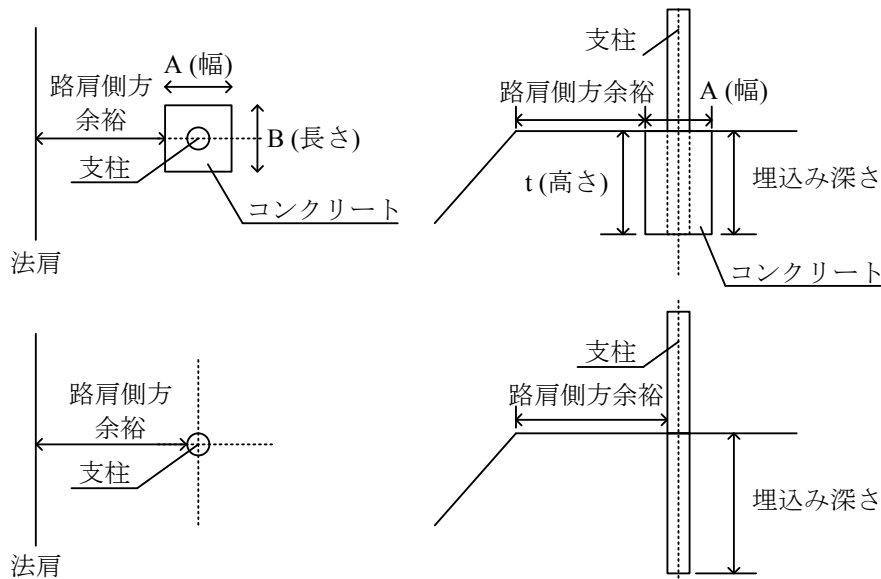
●防護柵（フェンス）

準拠する基準に、防護柵の設置基準・同解説¹⁾があり、一般的な歩行者自転車用柵の支柱埋込み例に当社製品ポールアンカー0型の基礎寸法を記載したものを表2に示します。

表2 従来基礎とポールアンカー0型の比較

種別	設置目的	設計強度	高さ(mm)	土中埋込み式基礎			ポールアンカー0型		
				支柱間隔(m)	埋込み深さ(mm)	備考	規格	根入長(mm)	
P	転倒防止	垂直荷重 590N/m	1,100	3.0 支柱 φ 60.5	E	1,200	根固め寸法 (A×B×t) 300×300×800mm (300×300×450mm)	07S	950
					C	800 (450)			
					W	200			
	横断防止	水平荷重 390N/m	700 ~800	3.0 支柱 φ 60.5	E	1000	根固め寸法 (A×B×t) 300×300×400mm	07S	950
					C	400 _{*1}			
					W	200			

- 注) 1 E は土中埋込み，C はコンクリート根固め，W は橋梁，高架，擁壁などの構造物上に設置する場合である。
- 2 根固め寸法の A は幅，B は長さ，t は高さである
- 3 _{*1} の値は路肩側方余裕 100mm 以上 500mm 未満，のり勾配 1:1.5 より緩やかで中位以上の地耐力を有する土質条件 (N 値 10 程度の砂質地盤) の場合である。
- 4 () の値は，路肩側方余裕 500mm 以上で中位以上の地耐力を有する土質条件 (N 値 10 程度の砂質地盤) の場合である。
- 5 支柱緒元には，積雪荷重は考慮されていない。なお，除雪作業などに支障となる場合には，着脱可能な構造を検討してもよい。



●道路反射鏡

道路反射鏡の準拠する基準に道路反射鏡設置指針²⁾があり、基礎については、「道路附属物の基礎について」(昭和50年7月15日付け建設省道企発第52号建設省道路局企画課長通達)(以下、通達という)に従うことになっております。通達に記載する基礎の標準寸法と当社製品ポールアンカー10型・ルーツの基礎寸法を比較したものを表3に示します。なお、ポールアンカー10型はメッキ処理なし、ポールアンカールーツはメッキ処理ありの製品となります。

表3 従来基礎とポールアンカー10型・ルーツの比較

鏡面数	種類		縦長剛体基礎		ポールアンカー10型 ポールアンカールーツ	
			幅 (cm)	根入れ長 (cm)	規格	根入れ長 (cm)
一 面	丸 形	φ 60 80 100	50	60	22S	70
				90		90
				120		100
	矩 形	□ 60×45 60×50 66×51 75×55 80×60		60	22S	80
				60		80
				90		80
				90		90
				90		90
	楕 円 形	○ 67×54 89.5×71.6 112×89.6		60	22S	70
				90		90
120			100			
二 面	丸 形	φ 60 80 100	90	22S	90	
			120		110	
			150		130	
	矩 形	□ 60×45 60×50 66×51 75×55 80×60	90	22S	90	
			90		100	
			90		100	
			120		110	
			120		110	
	楕 円 形	○ 67×54 89.5×71.6 112×89.6	90	22S	90	
			120		110	
150			130			

参考文献

- 1) 防護柵の設置基準・同解説 (日本道路協会、平成20年1月)
- 2) 道路反射鏡設置指針 (日本道路協会、昭和55年12月)
- 3) 道路照明施設設置基準・同解説 (日本道路協会、平成19年10月)
- 4) 道路標識設置基準・同解説 (日本道路協会、昭和62年1月)
- 5) 道路附属物の基礎について (道企発第52号、昭和50年7月)